

いま、『協同』が創る2014全国集会 in 九州・沖縄 協同の力で働く喜び、 生きるよろこびを!

～集まらんですか、語らんですか。平和尊び、命輝く未来へ～

1日目 全体会

ビデオメッセージ バクウンスン 朴 元淳(ソウル特別市市長)

記念講演

「歴史的危機の時代に、共に生きる、
共に働く社会を創る」

姜 尚中(聖学院大学学長・東京大学名誉教授)

パネルディスカッション

「農と自然、つながる命
－未来の仕事創造する－」

パネリスト

山下 惣一×宇根 豊×天生日 紗帆×蜂須賀 晃星×岡元 ルミ子×永戸 祐三

特別企画 生笑一座

東北からの報告 亀山 紘／田中 羊子

2日目 分科会(21の分科会報告)

いま、『協同』が創る2014全国集会 in 九州・沖縄総括他、関係資料

2014年
全体会
11月22日(土)12:30~18:00
福岡国際会議場

2014年
分科会
11月23日(日) 10:00~16:00
アクロス福岡、西鉄イン福岡、
エルガーラホール、福岡県中
小企業振興センター

■全国協同集會特集号作成を通じて感じたこと	相良 孝雄(協同総合研究所 事務局長)	2
■特集号：いま、『協同』が創る2014全国集會 in 九州・沖縄		
協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！～集まらんですか、語らんですか。平和尊び、命輝く未来へ～		
▽協同集會の基調	協同集會実行委員会	4
▽全国協同集會の歴史一覽		6
▽写真で振り返る協同集會		9
< 1 日目・全体集會 >		
◎主催者挨拶	倉重 博文(共同代表・福岡県農業協同組合中央会会長)	13
◎来賓挨拶	海老井 悦子(福岡県副知事)、中園 政直(福岡市副市長)	15
◎ビデオメッセージ	朴元淳(パクウォンスン)(ソウル特別市市長)	19
◎韓国地域自活センター協会と日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会による包括的協同に関する協定書締結式		20
◎記念講演「歴史的危機の時代に、共に生きる、共に働く社会を創る」		
	姜 尚中(聖学院大学学長・東京大学名誉教授)	27
◎パネルディスカッション「農と自然、つながる命-未来の仕事創造する-」		36
パネリスト：山下 惣一(農民作家)、宇根 豊(農と自然の研究所)		
天生目 紗帆 蜂須賀 晃星 岡元 ルミ子		
(ワーカーズコープ国分ほのぼの 仕事ができる子どもたち)		
コーディネーター：永戸 祐三(日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会理事長)		
◎特別企画 生笑一座(認定NPO法人抱撲)		59
◎東北からの報告		
・東北から復興に向けた実践報告～高齢者を地域で支える協働の街づくり～		
	亀山 紘(宮城県石巻市 市長)	68
・東北からこの社会の希望と未来を切り拓く… 田中 羊子(ワーカーズコープ東北復興本部本部長)		75
◎閉会挨拶	宮崎 正義(共同代表・福岡県生活協同組合連合会会長理事)	79
< 2 日目 分科会 >		
①高齢者が地域で活躍するコミュニティケアの創造へ	上原 良博	81
②生活困窮者支援制度を焦点に～孤立と分断、排除を超えて、ともに生きる、ともに働く地域を創る	江田 初穂	88
③思っていること、感じていること、たくさん話しませんか	彦坂 冨香	94
④成長なき「人口減少社会」に持続可能で豊かな社会をつくる	玉木 信博	99
⑤東日本大震災からの復興を人間復興のコミュニティへ	内村 恵	106
⑥あなたの「意志あるお金」でくらしと社会を変える	福田 妙子	112
⑦どうなるTPP!私たちの食・医療・暮らし～危ない自由貿易協定の罠～	細越 雄二	117
⑧日韓社会的経済プラットフォームづくりに向けて～当事者市民が仕事をおこし地域をつくる社会的経済とは～	佐々木 政行	123
⑨沖縄・水俣・福島をつなぐ～国策に翻弄されない市民主体の地域社会をつくる～	藤野 克彦	129
⑩障がいのある人々が共に創り出す共生社会	小林 啓示	134
⑪労働の破壊を許さず、人間らしい労働の創造へ～働く喜び、生きる喜びを地域から創る協同労働の可能性～	緒方 満	139
⑫市民の力で自給・循環する地域づくりへ～菜の花・BDF(バイオディーゼル燃料)の取り組みが地域の未来をつくる～	佐々木 逸人	146
⑬平和なアジアを市民連帯の力で創る	田中 秀雄	152
⑭遊休施設を活用した市民主体のまちづくり・仕事おこし	川合 秋穂	157
⑮笑いが創る共生・協同の社会を目指して	黒田 志保	163
⑯子ども若者の困難を超える地域づくり～'生きる'をマモリ、'生きる'をツタエル～	刀根由紀子	169
⑰人生80年時代の食と農と福祉	高次 玲映	175
⑱子ども若者が地域再生・まちづくりの主体に～生命あふれ、1人ひとりが輝く未来を～	廣松 真希子	181
⑲自然と里山を活かした地域づくり、人づくり【移動分科会：福岡県飯塚市】	天野 良昭	187
⑳死の海からの復活「洞海湾の奇跡を知ろう!」【移動分科会：福岡県北九州市】	梶山 謙介	192
㉑農を通して、自然と人間のつながりを見つめ直す【移動分科会：福岡県糸島市】	山口 由佳理	198
■いま、『協同』が創る2014全国集會 in 九州・沖縄 総括と資料集		
・いま、『協同』が創る2014全国集會 in 九州・沖縄 総括	奥 治(協同集會実行委員会事務局長)	202
・九州・沖縄協同集會を終えて	大場 寛、飯沼 潤子	214
・協同集會資料編		217
■研究所だより・活動日誌		224

いま、「協同」が創る2014全国集会 in 九州・沖縄

協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！

～集まらんですか、語らんですか、平和尊び、命輝く未来へ～



いま、「協同」が創る2014全国集会 in 九州・沖縄が、2014年11月22日～23日に全体会、21の分科会の中身で、全体会を福岡国際会議場、分科会をアクロス福岡・西鉄イン福岡・エルガーラホール・福岡県中小企業振興センター・移動分科会(飯塚市・北九州市・糸島市)を会場として開催しました。「協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！～集まらんですか、語らんですか、平和尊び、命輝く未来へ～」をテーマに、全国各地からそして韓国からも70名の方が参加し、全体会には1431人、分科会には1505人、延べ人数で2936人が協同集会に参加をしました。これは、今までの協同集会での最大参加者数であり、韓国を中心とした東アジアでの協同・連帯の動きが加速した集会になりました。

1987年のいま「協同を問う」ブレ集会(静岡県伊東市)から17回目の全国協同集会になりますが、協同を「問う」から2000年の東京学芸大学で開催した全国協同集会で、協同を「拓く」に変わり、2012年のさいたまの全国協同集会からは、協同を「創る」に集会の名称を変更しました。これは市民が協同することを通じて、社会を変え、地域を変える当事者・主体者として「創る」ことの大切さを確信に据えた、参加者自身の学びの変化を象徴する言葉であると思います。

この集会の準備として、12回の実行委員会、14回の九州・沖縄各地のプレ集会、12人の共同代表、19の実行委員会団体、多くの協賛団体、後援団体が参画して、1年以上をかけ、議論を積み上げながら準備を行ってきました。また昨年4月から2ヵ月ごとに日本と韓国を訪問し合うこともしてきました。このように全国協同集会は、準備の段階から協同で「創る」ことを体現しながら、当日は多くの感動・交流・学びが生まれ、「働くこと」「生命が輝くこと」「生きること」を共に考える仲間の出会いの場になりました。これから共に学び合った仲間と、社会や地域の課題を連帯・協同をしながら、解決をしていくことが、今後の課題になると考えています。

報告集作成にあたり、集会当日だけでは学びきれなかったことがこの冊子にまとめることができたのではと考えております。この報告集が「協同の実践が詰まった学びの宝庫」として、みなさんにご活用いただければ嬉しく思います。この場を借りて、多くの方にご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

(一般社団法人協同総合研究所 事務局長 相良孝雄)



協同総合研究所は、労働者、市民が自らの力で自律的に仕事と生活の豊かさを求める活動を支援するシンクタンクです。わが国にも「大量失業の時代」が到来する中で、労働者、市民が自主的に仕事おこしをする労働者協同組合(ワーカーズコープ)への注目が増えています。研究所は、わが国唯一の「労働者協同組合」に関する専門研究機関です。



研究活動をネットワークし、蓄積された情報を資源として支援する「協同の発見」を会員のみなさまに毎月お届けいたします。